

科目名	社会福祉演習Ⅲ K					単位	2.0
担当教員	平澤 恵美						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	4	授業番号	3246

●授業のテーマ

専門職として支援することの意味を考え、各自の研究テーマを探究する。

●到達目標

卒論・ゼミ論として、昨年度にそれぞれが設定したテーマについての理解を深める。

自分の考えをまとめ、発表し、グループの中で議論することでプレゼンテーション力とコミュニケーション力を高める。

●学習内容(授業概要)

社会福祉演習Ⅰ・Ⅱで設定した各自の研究テーマに沿って、文献検索・フィールド調査をおこない、積極的に現場へ足を運ぶことにより、その実態や課題を客観的に捉える。ゼミの中では、研究のプロセスを通して学んだこと、感じたことを他者と共有することにより、自分の考えをまとめながら研究をすすめていく。また、卒論・ゼミ論をまとめるために必要な論文の組み立てや作成方法、発表資料のまとめ方や発表の方法などについてもゼミの中でおこなう。

各自の研究テーマは異なるが、発表を通して自分の研究を共有することにより、お互いに学び合う機会とする。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. オリエンテーションと年間目標の設定
2. 前年度の課題報告(グループA)
3. 前年度の課題報告(グループB)
4. 前年度の課題報告(グループC)
5. 研究論文の理解
6. 研究方法の理解(1)
7. 研究方法の理解(2)
8. 現場調査の実際とアプローチ(1)
9. 現場調査の実際とアプローチ(2)
10. 中間報告(グループA)
11. 中間報告(グループB)
12. 中間報告(グループC)
13. 報告会の振り返りとディスカッション
14. 後期に向けての目標設定と計画
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

各自の研究テーマに沿って、主体的に学ぶ機会としてゼミを活用する。発表の準備を計画的におこない、プレゼンテーションができるように資料も準備する。ゼミで学んだことを研究に反映できるように、自分の意見をまとめ、必要に応じて調査をすすめる。

●成績評価方法・基準

発表・ディスカッションへの参加状況 50%

レポート 50%

●テキスト（必携）

授業時に資料を配布する。

●参考文献／その他

授業時に紹介する。

●履修上の注意

積極的にフィールドへ足を運び、見て・感じて多くを学んでほしい。

卒論・ゼミ論の完成に向けて、計画的に取り組んでほしい。